

山田みやこの活動報告

令和7年6月28日（土）

民主市民クラブ会派 県外調査

大阪中之島美術館

本県は「文化と知」構想により、美術館、図書館、文書館の三施設を一体的に整備する予定となっている。そこで、大阪中之島美術館を視察。

まず、5階建ての建物でグレーと黒を基調としたシンプルさと、木をふんだんに使ったフロアーの椅子やカフェ等ゆったりとした雰囲気に着きを感じた。

令和4年2月2日に開館。地方独立行政法人大阪市博物館機構が設置し、PFI事業者の株式会社大阪中之島ミュージアムが運営している。

◇コンセプトとしては、

- ①佐伯祐三、吉原治良に代表される大阪が育んだ作家の作品を中心に第一級のコレクションを活かし、国内トップクラスのミュージアムを目指す。
- ②大阪と世界の近現代美術館をテーマに、他にない新たな魅力を創造する。
- ③中之島を拠点として、文化の振興や都市の魅力向上に貢献する。
- ④民間の知恵を最大限活用しながら顧客目線を重視し、利用者サービスに優れたミュージアムとする。

◇視察当日は、「日本美術の鉱脈」展、
未来の国宝を探せ！という企画展

日本美術にはまだ世に知られていない作者、作品が埋もれているので、改めてその鉱脈を掘り起こし、美しい宝石として、今後の日本美術史に定着していくことを目標にし縄文からの近現代の作品を展示している。



※開館前には長い列がつくられ入場を待つ人達がいた。文化に親しむ美術館としての位置付けを象徴している。

本県の美術館も、他にない地域の文化を重視し、県内外の人達が魅力を感じられるものにすることで、今後整備をしていくことを強く感じた。